

大学生協オリジナルセットアップテキスト

Panasonic Let's note

CF-FV1シリーズ

※Microsoft Officeについては購入された大学生協店舗からの案内をご確認ください。

箱を開ける前に必ずお読み下さい

全体作業所要時間は最低で1時間程度です。(1~5)
※Microsoft Officeを設定しない場合の参考時間です。

目次

1: 無料パソコン電話サポート	(p4)
2: セットアップの準備	(p5)
3: Windowsの設定	(p10)
4: Windows Updateの設定	(p28)
5: 活用編	(p30)

このパソコンは大学生協オリジナルモデルです。
一般に販売されているパソコンとは異なる点がありますので
このセットアップテキストを使用して設定して下さい。
本セットアップテキストは大学生協が発行しております。



パソコンをご使用になるまでの流れ

1. 無料パソコン電話サポート (4ページ)

今回ご購入いただいたパソコンには、無料で問い合わせできる電話サポートがついています。困った事がありましたら、お気軽にご相談下さい。

2. セットアップの準備 (5ページ)

パソコンは他の電化製品と違い、電源を入れてすぐに使用することができません。初めて電源を入れるときには、セットアップという作業が必要となります。このセットアップテキストでは、初めての方にもわかりやすく解説していきます。

3. Windowsの設定 (10ページ) 約10分

初めて電源を入れたときにWindowsのセットアップが開始されます。使用者ご本人の登録など、基本的な設定を行います。

——ここからインターネットの接続が必要です——

4. Windows Update (28ページ) 約30分

セキュリティを向上させたり、不具合を解消する機能がWindows Updateです。Windows Updateを行わないとトラブルの原因になったり、ウイルスに感染してしまう可能性があります。

パソコンを正しく快適に使うために気をつけよう！

振動 衝撃に 注意！



パソコンは衝撃や振動に弱いものです。持ち運び時にはケースに入れるようにしましょう。

それでも自転車のカゴに入れるのは禁物です。振動でハードディスクやボディが壊れる恐れがあります。

また、満員電車の圧力で破損した例もあります。

机からの落下も破損の原因になりますので注意しましょう。

置き忘れ、 盗難に 注意！



学内や電車の網棚、飲食店などへのパソコンの置き忘れが毎年発生しています。ちょっとトイレに行った際に・・・というケースもあります。パソコンは高価な商品ですが、それ以上に個人情報などの大切なデータがたっぷり詰まっています。コンパクトで持ち去られやすいので、盗難などにも注意しましょう。

液晶画面の 取扱いに 注意！



液晶画面はガラスです。衝撃や強い圧力で破損します。

例えば、PC本体をぶつける、画面を指で押す、キーボードの上にUSBメモリやペンなどを置いた状態でフタを閉じる、PCの液晶ディスプレイ側を持って本体を持ち上げるなどの取り扱いを行うと液晶画面パネルが破損します。

掃除の際にも柔らかい布やクリーナーでやさしく拭き取るようにしましょう。

飲み物に 注意！



パソコンは電子機器なので、水にとっても弱いものです。

部屋の中やカフェなどでうっかり飲み物をこぼしてしまうケースが意外に多いです。

パソコンの操作中は出来るだけ近くに飲み物を置かないようにしましょう。

また、ちょっとした水滴から守るためにも、キーボードカバーを使うという方法もあります。

※破損、水濡れ等はメーカー保証期間内でも有償修理になります。

1. 無料パソコン電話サポート

今回ご購入いただいたパソコンには、無料で問い合わせできる電話サポートがついています。困った事がありましたら、お気軽に「大学生協無料パソコン電話サポート」にご相談下さい。

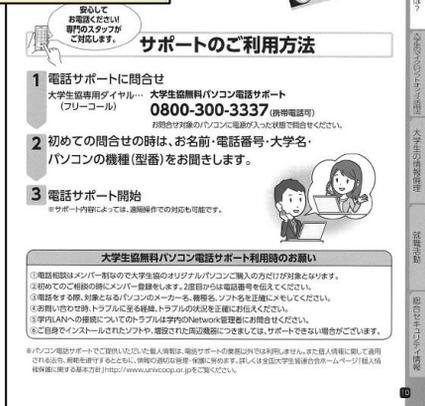
サポートのご利用方法

下記電話番号にお電話下さい。

サポートのご利用方法については、同梱の「学生支援ポータルガイドブック」の「困ったときは？」に詳細が記載されてます。ご一読ください。

※初めのお問合せの時は、氏名・電話番号・大学名・PC型番(外箱や保証書に書かれています)をお聞きます。

※次回のお問合せからは電話番号のみお伝え下さい。



「大学生協専用ダイヤル」のシールを同梱しております。パソコン本体に貼ってご利用下さい。



サポート期間: 2023年2月28日まで

電話相談受付時間: 10:00～23:00

電話番号(フリーコール): 0800-300-3337

※「無料パソコン電話サポート」は、学生様がご自身でパソコンを使いこなせるように成長するための支援を目的としております。大変恐縮ですが、保護者様ではなく、学生様ご本人からお電話いただきますようお願いいたします。

※ご購入いただいたパソコンやプリンタ専用のサポートダイヤルです。他のパソコンのご質問は承れません。

※サポート期間終了後のご質問は直接メーカーまたは生協店舗にお問合せ下さい。

2. セットアップの準備

パソコンは他の電化製品と違い、電源を入れてすぐに使えるようになっていません。初めて電源を入れるときには、「セットアップ」という作業が必要となります。この「セットアップテキスト」では、初めての方にもわかりやすく解説していきます。

2-1. 箱を開けたらすぐに確認しましょう。

「取扱説明書 基本ガイド11ページ

『付属品の確認』で付属品を確認して下さい。

※同梱物が無い場合は、すぐに生協店舗へご連絡下さい。

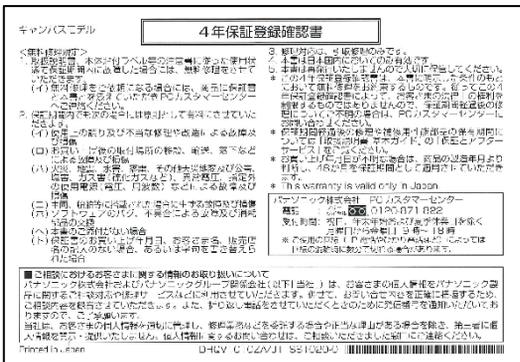


このノートパソコンは4年保証となっています。

箱に添付されている「メーカー保証書」とパソコン本体のディスプレイを開いたところにある「4年保証登録確認書」の2枚をご確認下さい。

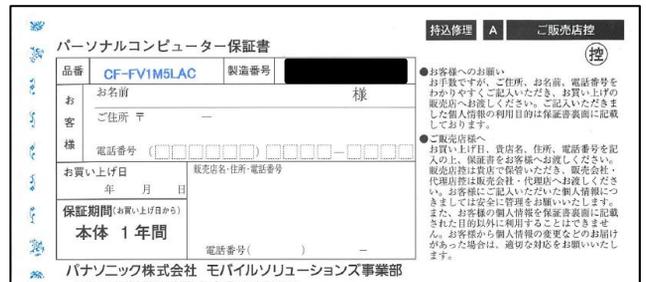
今後パソコンの動作がおかしくなったり、パソコンが壊れて修理する際に必要なものもありますので、**⚠ 付属品は全て大切に保管して下さい。**

特に下記の付属品を無くした場合は有償の修理になったり、同じものを購入するのに数万円かかります。



□4年保証登録確認書

※パソコン本体のディスプレイを開いたところにあります。



□メーカー保証書

※箱の内側に貼りついている緑の封筒内に入っています。

2-2.セットアップに必要な物を取り出して下さい。

【セットアップに必要な物】



□ACアダプタ



□電源ケーブル



□バッテリー

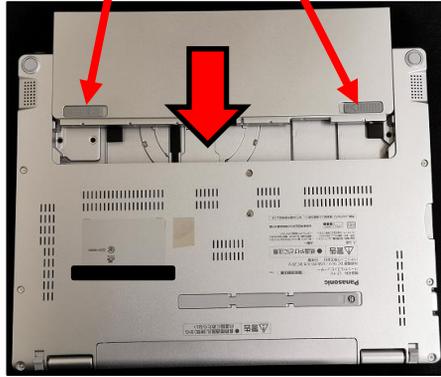
注!意

紛失した場合、同じものを購入するのに数万円かかります。大切に保管して下さい。

2-3. 本体にバッテリーを取り付け、ACアダプタと電源ケーブルを接続します。

【バッテリーの取り付け】

本体をひっくり返して、取り付けます。
バッテリーのロック解除ボタンのある面を底面側にして矢印方向へスライドさせるように挿入します。



【ACアダプタと電源ケーブルの接続】

- ① ACアダプタと電源ケーブルを接続します。
※奥までしっかり差し込んでください



- ② ACアダプタのプラグを
PC本体側面の「DC IN」
に接続します。



- ③ 電源ケーブル側をコンセントに
接続します。
※この時充電ランプがオレンジ色
に点灯すれば、ACアダプタと
電源ケーブルの接続はOKです。

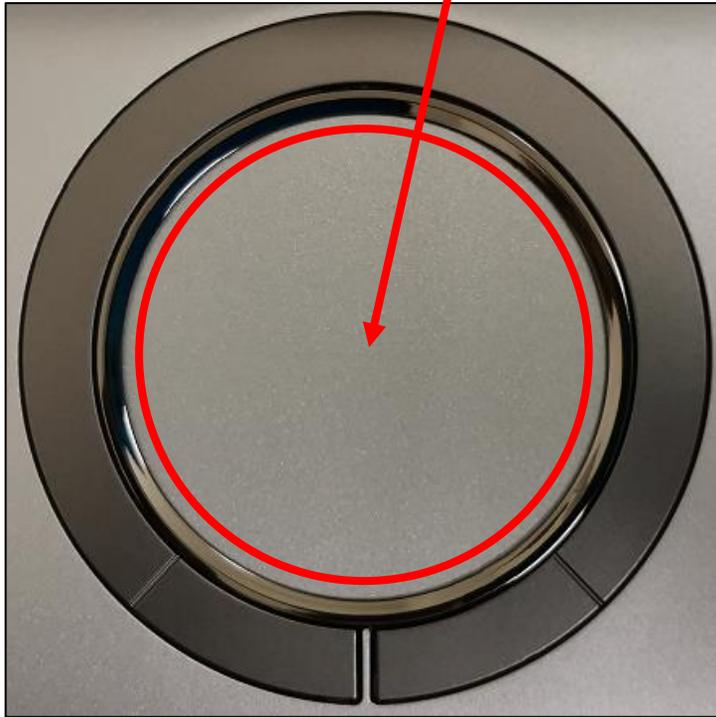


※セットアップ中は、電源に接続したままにしてください。

2-4. セットアップの注意点

パソコンを起動し、一定時間操作を行っていないと「省エネ」の為、液晶画面を自動的にOFFにする(スクリーンセイバーなどの)動作を行います。

セットアップ中に画面が暗くなったときはタッチパッドに触れると画面が戻ります。



タッチパッドに触れても復帰しない場合

タッチパッドに触れても画面が戻らずに本体の電源ランプが点滅している場合はスリープモードという状態になっています。

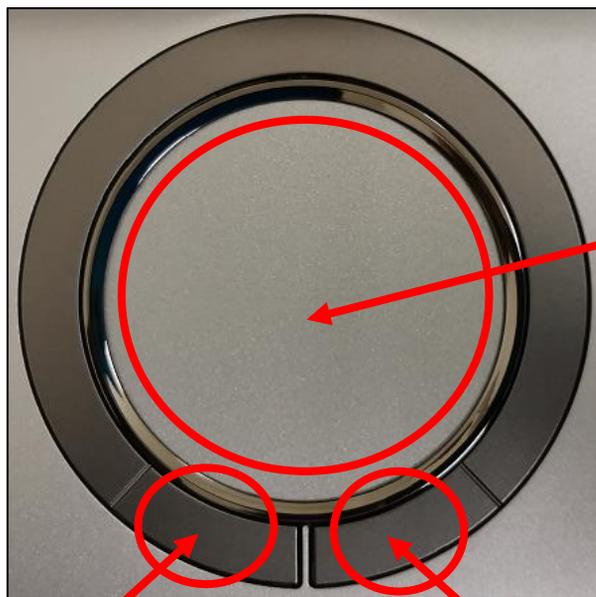
その場合は、電源ボタンを操作すると画面が元に戻ります。

覚えておいてください。

※異常状態が長く続くとき(10分以上)は電話サポートにお問い合わせください。

タッチ패드操作を覚えましょう！

ノートパソコンのタッチパッドを簡単に説明します。
タッチパッドが初めての方は一読しておいてください。



タッチエリア

タッチエリアに指1本を当てて動かすと画面上のマウスポインタを動かすことができます。



基本操作としてはマウスポインタを動かして画面上のアイコンや文字、リンクに合わせて、**左クリックボタン**でクリックやダブルクリックをします。

左クリックボタン

右クリックボタン

★クリックの種類

・クリック

⇒左クリックボタンを1回押すこと

・右クリック

⇒右クリックボタンを1回押すこと

・ダブルクリック

⇒左クリックボタンを2回続けて押すこと

・ドラッグ

⇒左クリックボタンを押しながらマウスポインタを動かすこと

※タッチエリアのタップ(指先で叩く)はクリックと同じ効果があります。
タッチエリアを2回タップすることでダブルクリックと同じ効果があります。

最近の機種は(本機も)下図のように指2本で上下に動かすと画面スクロールができます。



※スマートフォンの様にピンチアウトやピンチインによる拡大縮小も可能です。
色々なシーンで試してみてください。

※Windowsのセットアップが完了するまでネットワークには接続しないでください。

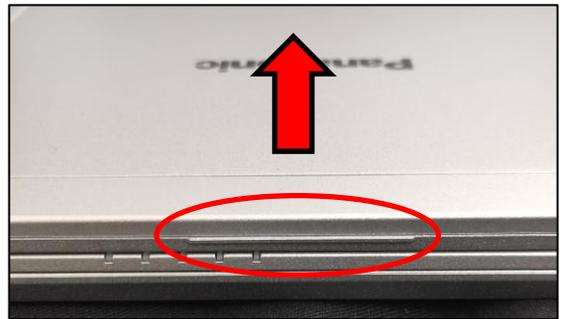
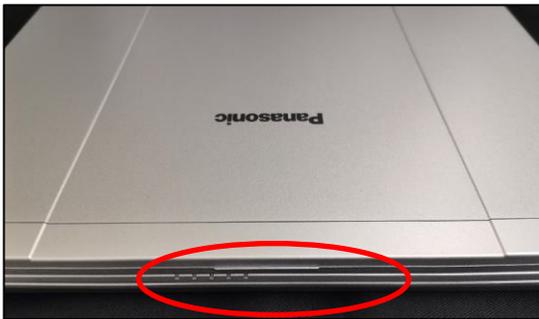
3. Windowsの設定 (所要時間 約10分)

初めて電源を入れたときにWindowsのセットアップが開始されます。
使用者ご本人の登録など、基本的な設定を行いましょ。

Windowsのセットアップだけでも約10分ほど必要です。
電源を入れたらセットアップ終了まで電源コードを必ず接続して、電源を切らないで下さい。

【Windowsセットアップの開始】

- ①パソコン本体の画面を開きます。
※開く時は真ん中を持ってゆっくり開けてください。

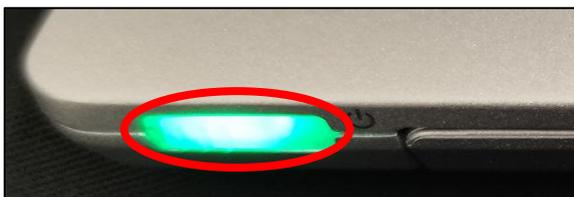


- ②本体左手前にある電源スイッチを2秒ほどスライドさせて電源を入れます。



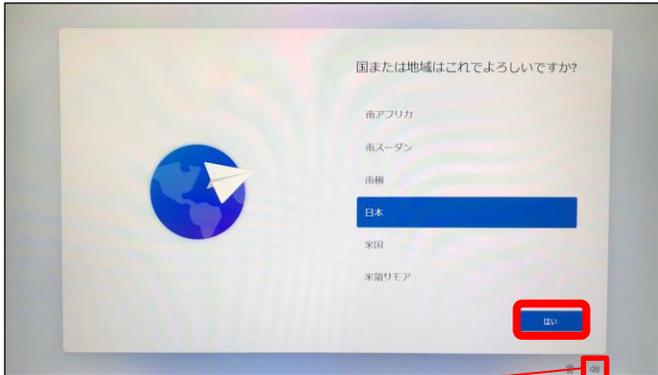
※赤ランプが点滅した場合
正しくバッテリーが装着されて
おりません。ACアダプタを抜き
バッテリーを正しく装着しなおし
て下さい。

- ③右へスライドして下さい。
緑色にランプが点灯します。

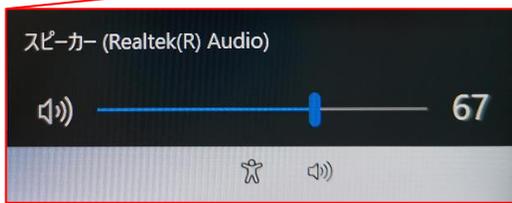


【Windowsセットアップ手順④～⑥】

④

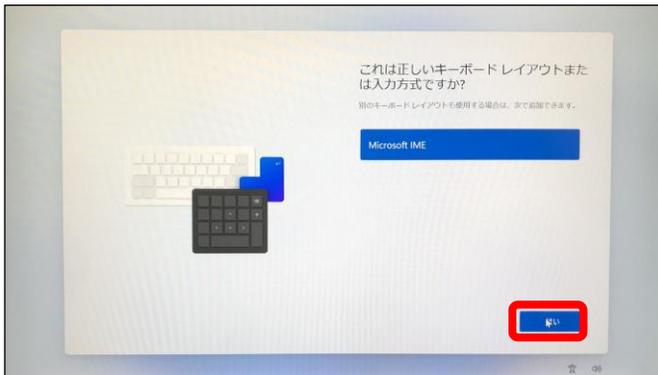


「国または地域はこれによろしいですか？」と表示されます。「日本」が選択されていることを確認し（「日本」が選択されていない場合は「日本」を選択してください。）、【はい】をクリックします。



※音声ガイダンスが流れる場合は、右下のスピーカー  をクリックし、【音量を下げる】か、【無音】設定に変更をお願いします。

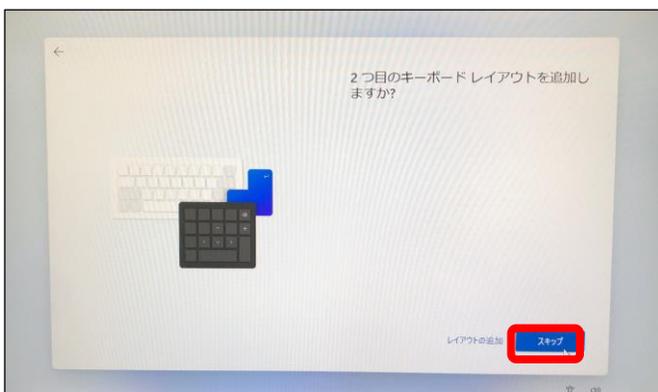
⑤



次に「これは正しいキーボードレイアウトまたは入力方法ですか？」と表示されます。

「Microsoft IME」が選択されているれば、【はい】をクリックします。

⑥



「2つ目のキーボードレイアウトを追加しますか？」と表示されます。

今は、追加しませんので【スキップ】をクリックします。

<手順は13ページに続きます>

文字入力を覚えましょう！

※手順⑩より文字入力が必要となります。
文字入力が不安な方はご覧ください。



①半角/全角の切り替え方法

キーボード左上の【半角/全角】キーを押して切り替えることができます。

画面右下に表示されている言語バーを見ると、現在の入力の状態を確認できます。



「A」の場合は半角、「あ」の場合は全角になります。



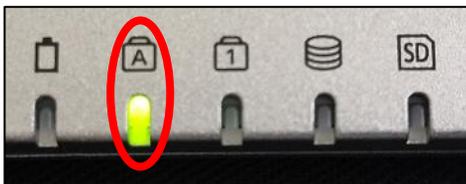
②大文字と小文字の入力方法

キーボードの【^{シフト}Shift】キーを押したまま、文字のキーを押すと大文字で入力ができます。

また【Shift】キーを押したまま【^{キャプスロック}CapsLock】を押すと常に大文字で入力ができる設定に切り替えることができます。

この機能をCapsLockと言います。

※もとに戻す場合はもう一度、【Shift】キーを押したまま【CapsLock】を押すと常に小文字が入力される設定に戻ります。



CapsLock機能が有効か無効については、キーボード手前の

の  のランプが点灯している場合が有効で、この状態では常に大文字で入力されます。



③NumLockキーについて

文字入力の際に「おはよう」と入力して「6はy64」など入力したキーの左下にある文字が入力されてしまう場合は、NumLock(ナンバーロック)が有効の状態です。その場合はキーボード上方にある【NumLk】キーと、左下の【Fn】を同時に押すと元に戻ります。



Kを押して2が入力される場合はNumLock状態です。



NumLock機能が有効か無効かについては、 のランプが点灯している場合は有効になっています。

その他便利なキーについては39ページを参照して下さい。

【Windowsセットアップ手順⑦～⑩】

⑦



「ネットに接続しましょう」と表示されます。今回はネットに接続せず、ローカルアカウントを設定してのセットアップですので、【インターネットに接続してはいけません】をクリックします。

⑧



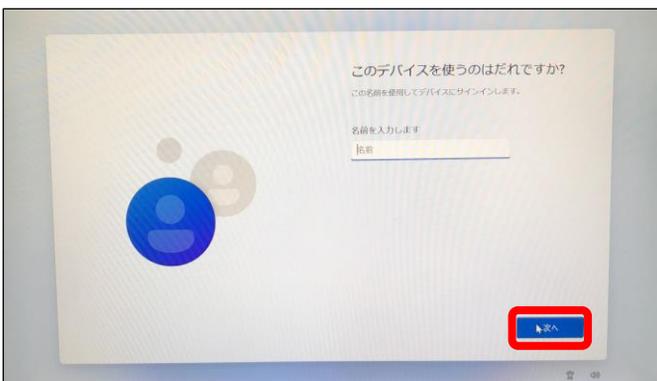
すると、「今すぐ接続して、デバイスをすぐに使い始めましょう」と表示されます。今回はネットに接続しないので、【制限された設定で続行】をクリックします。

⑨



「ライセンス契約をご確認ください。」と表示されます。「マイクロソフトソフトウェアライセンス条項」を一番下までスクロールし、熟読頂いたうえで、【同意】をクリックします。

⑩



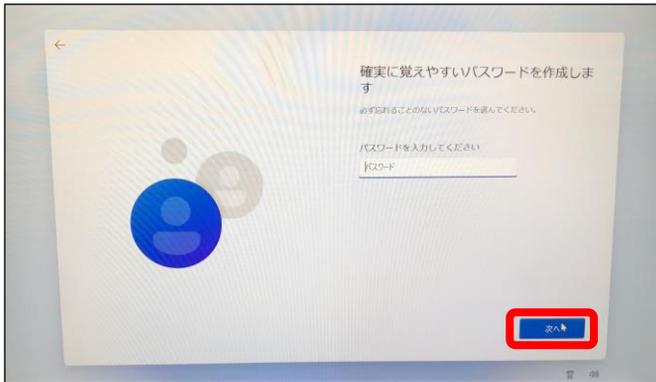
「このデバイスを使うのはだれですか?」と表示されます。ユーザー名を、12文字以内の半角英数字(a～z、A～Z、0～9)で入力し、できたら【次へ】をクリックしてください。

※ユーザー名については14ページの**注!意**も参照ください。

<手順は14ページに続きます>

【Windowsセットアップ手順⑪～⑫】

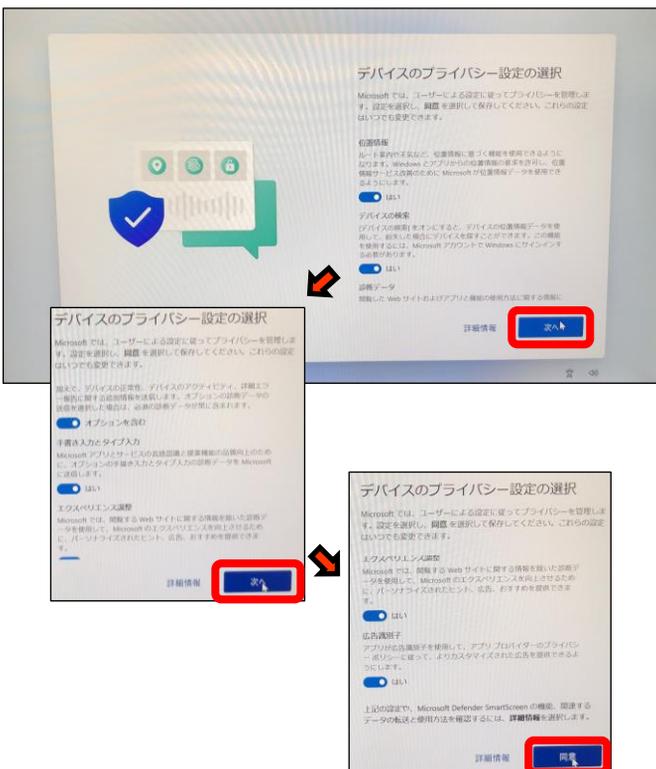
⑪



「確実に覚えやすいパスワードを作成します」と表示されます。パスワードは、セットアップ後でも登録できますので、ここではパスワードを設定せずに、そのまま【次へ】をクリックします。

(21ページも参照)

⑫



「デバイスのプライバシー設定の選択」と表示されます。

【次へ】⇒【次へ】の順にクリックすると、表示が自動でスクロールし、ボタンが【同意】に変わります。

一番下までスクロールが完了し、ボタンが【同意】となりましたら、クリックします。

<手順は15ページに続きます>

注意

・ユーザー名にスペースは使えません。(スペースのほか漢字もアプリにより不具合が生じる場合がありますので、入力できますが推奨できません)

・パスワードを忘れるとパソコンが使いなくなります。

※パスワードを忘れた場合、OSリカバリというパソコンの初期化が必要になります。リカバリをすると使用できるようになりますが、データは無くなります。

※パスワードは、一度設定した後、変更も可能です。(21ページ)

【Windowsセットアップ手順⑬】



こんにちは。

「こんにちは」



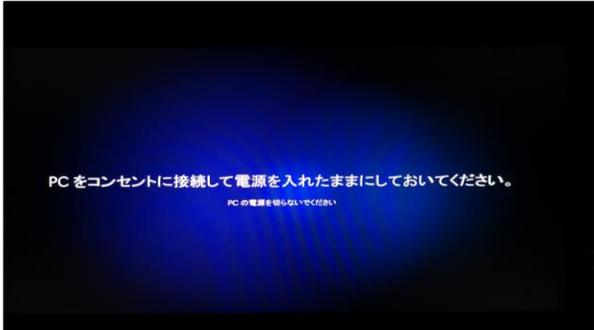
準備しています。

「準備しています」

⑬ これには数分かかる場合があります。

PCの電源を切らないでください

「これには数分かかることがあります」
などと表示され、
時々、背景が青色に変わったり、
また黒に戻ったりもします。



PCをコンセントに接続して電源を入れたままにしておいてください。

PCの電源を切らないでください

なにも操作せずにお待ちください。

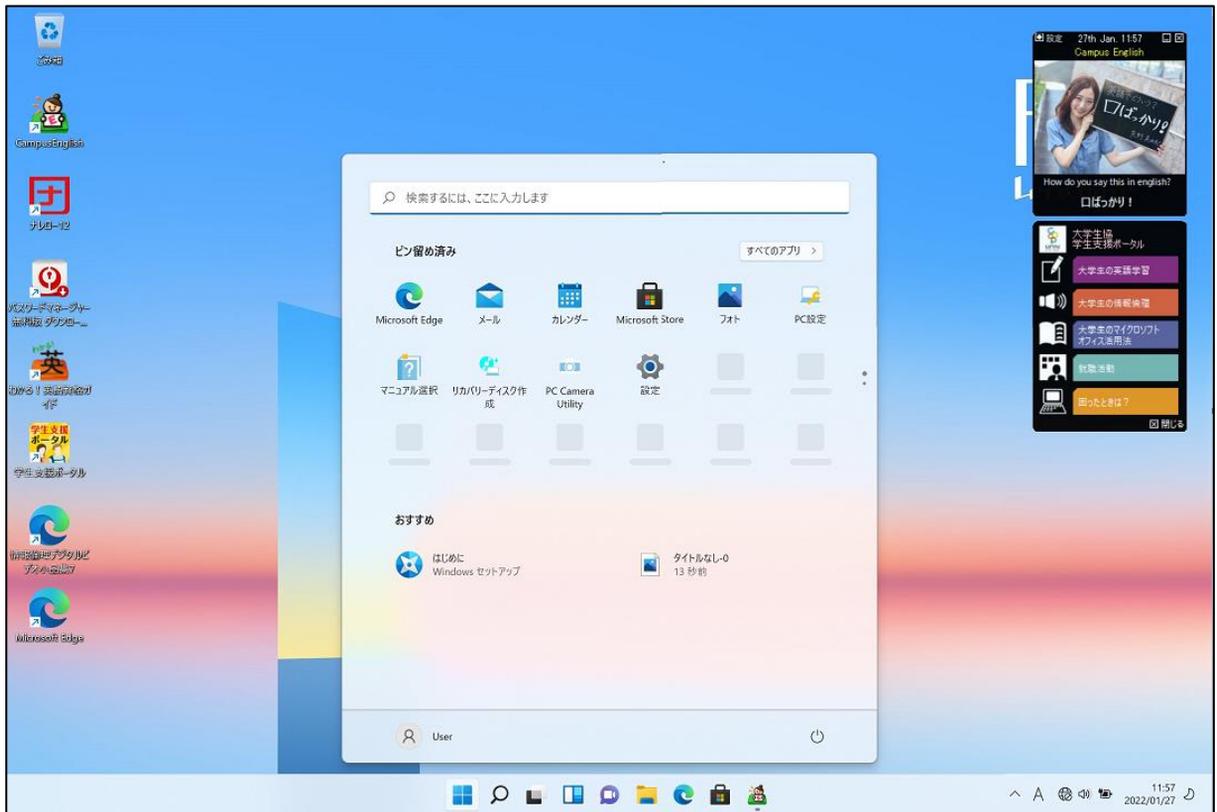


もう少しで完了です。

その後、
「もう少しで完了です」「お任せください」
等と表示され、デスクトップ画面が
表示されます

<16ページへ続きます>

以上でWindows11が使用できるようになりました。



デスクトップ画面(スタート画面)が表示されたら、OSのセットアップは終了です。

Windows 11の主な操作方法について [1]

注: 説明の図にあるアイコン群は例であり、お手元のPCと異なる場合があります。

【デスクトップ画面とスタートボタン】

起動後、ログイン画面でパスワードを入力しサインインすると、右のようなデスクトップ画面になります。
(起動時にロック画面が表示されログイン画面にならないときは画面を一度クリックしてください。)

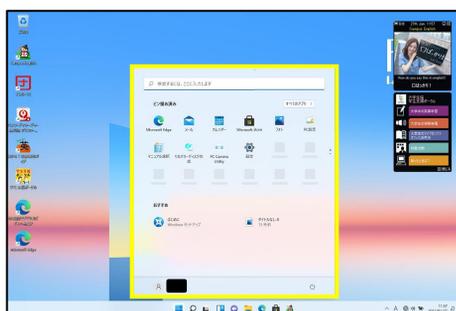
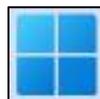
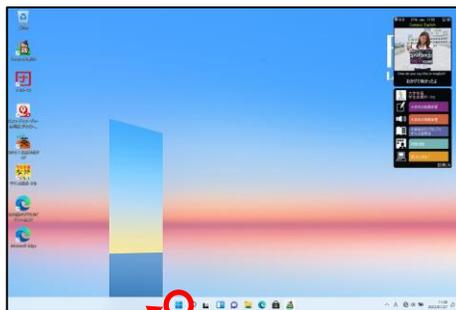
デスクトップ画面で下のスタートボタンをクリックするとスタート画面を表示します。

このスタート画面で起動したいアプリを選びクリックして実行します。

スタート画面上部には[ピン留め済み]のアプリのアイコンが表示されます。右側にある丸をクリックする事で表示ページを切り替えることができます。

スタート画面下部には[おすすめ]のアプリのアイコンが表示されます。直近でよく使用されているアプリが表示されます。

デスクトップ画面



スタート画面

次ページから詳細を説明します。

【インターネットブラウザ「Edge」(エッジ)について】

Windows 11 ではインターネットを見るアプリ(ブラウザ)はEdgeを使います。(従来のWindowsのブラウザは「インターネットエクスプローラ(IE)」でした。)インターネット接続環境が整ったらEdgeを使ってインターネットを利用してください。 ※25,26ページ、33ページにもEdgeの説明があります。

Edgeのアイコン



設定したパスワードを忘れた場合、パソコンが使えなくなり、パソコンの初期化(OSリカバリ)が必要になります。

※パスワードは、変更することも可能です。(21ページ)

Windows 11の主な操作方法について [2]

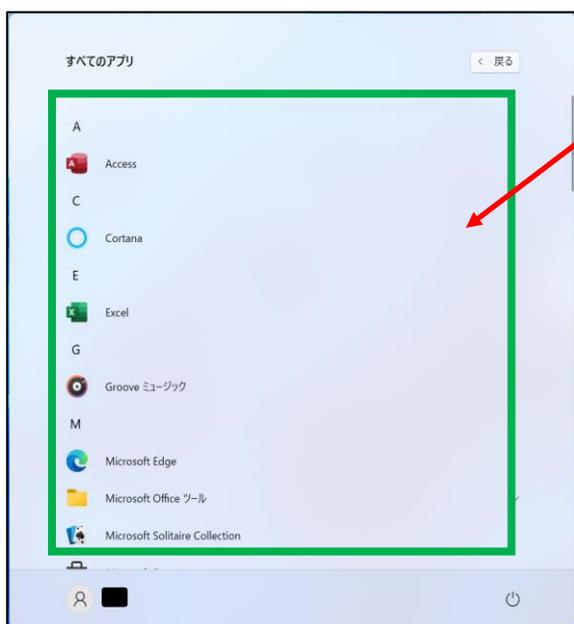
注:説明の図にあるアイコン群は例であり、お手元のPCの内容と異なります。

【スタート画面基本操作方法】

スタート画面を表示して、
そこに表示されているアイコンをクリックするとアプリが起動します。

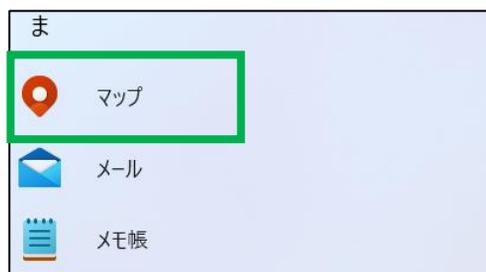


スタート画面の上部にある
すべてのアプリ をクリックすると、インストールされているアプリの一覧が表示されます



一覧の続きを見る場合は一覧表示画面(左図の緑色四角の範囲内)にマウスカーソルを合わせ、画面をスクロールします。(9ページ、指2本のスクロール方法参照)

目的のアプリが見つかったら、アイコンをクリックして起動します。



実行したいアプリのアイコンの絵や文字の部分でクリック

Windows 11の主な操作方法について [3]

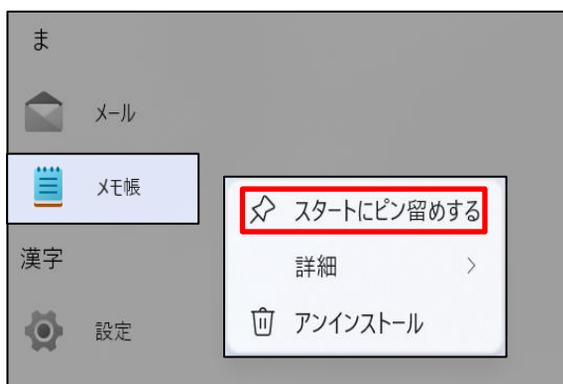
注:説明の図にあるアイコン群は例であり、お手元のPCと異なる場合があります。

【スタート画面のカスタマイズ】

スタート画面上部の[ピン留め済み]によく使うアプリを追加することができます。

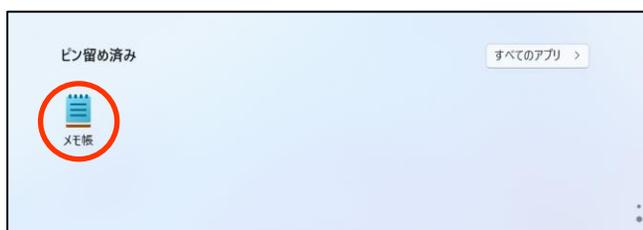
～ 例、アプリ「メモ帳」をピン留めします。～

※アプリ「メモ帳」は、
[すべてのアプリ]内の[ま行]にあります。



一覧画面で目的のアプリ、ここでは「メモ帳」を探し、右クリックします。

表示されたメニューの「スタートにピン留めする」をクリックします。



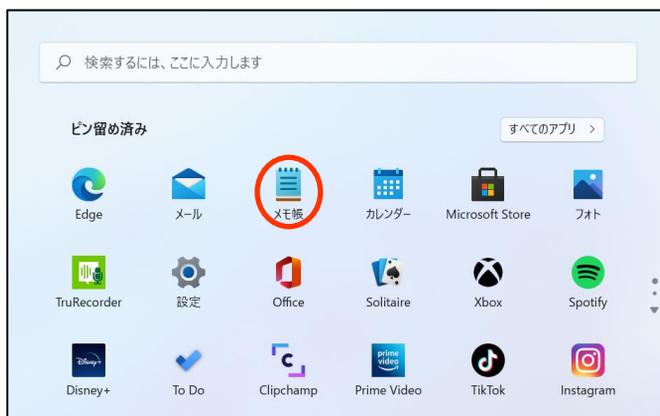
追加されました。

・位置の変更

アイコンをドラッグ(9ページ参照)してみてください、位置が変更できます。

・削除(すべてのアプリ項目からは削除されません)

アイコンを右クリックします。表示されたメニューで「スタートからピン留めを外す」をクリックします。

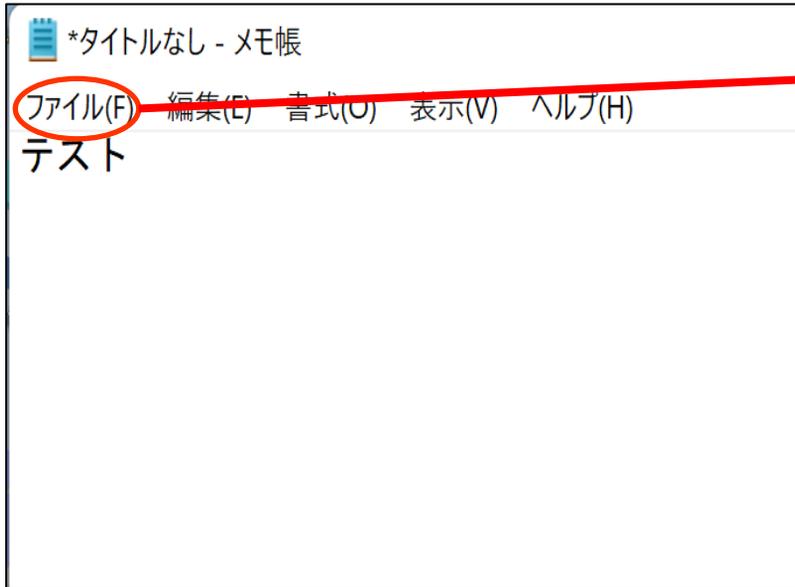


メモ帳を2ページ目から
1ページ目の方に移動しました。

Windows11の主な操作方法について [4]

【アプリで作成したファイルの保存と終了】

～アプリ保存の例、メモ帳の場合～



「ファイル(E)」をクリックすると上から4つ目に「名前を付けて保存(A)...」があるので、クリックすると左下のような画像が出てきます。

終了時、変更や新しく作ったファイルを保存する場合は「名前をつけて保存」画面になりますがその際、ファイルをどこに保存したかは、下図を参考に意識して覚えておいてください。



ここに注目。ここでは「ドキュメント」に保存しています。

後日、保存したファイルを探すときは「ドキュメント」の中を探します。

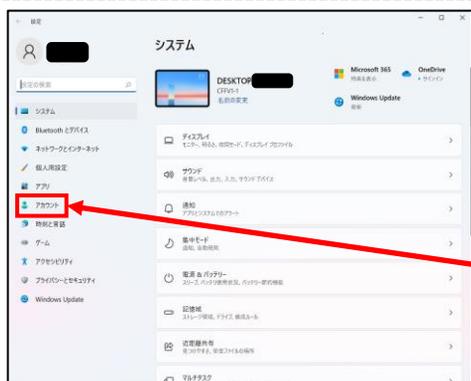
Windowsアプリの終了は画面の右上の×をクリックします。

～アプリの終了～



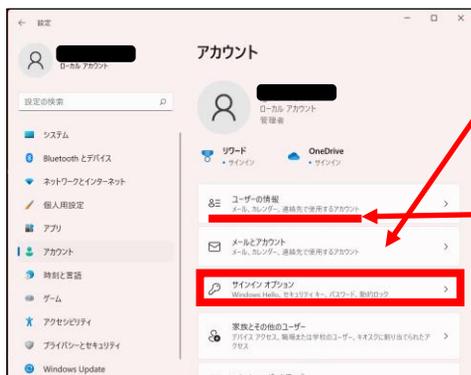
画面右上の×をクリックします

ログインパスワードの変更(設定)方法



スタートボタンをクリックし、
[ピン留め済み]、[すべてのアプリ]の中から
設定  をクリックします。

「システム」という画面になりますので
その中の「アカウント」をクリックします。



「サインインオプション」をクリックします。

{Microsoftアカウントとの関連付け}

インターネットにつなぎ、「ユーザーの情報」メニュー
から、「マイクロソフトアカウントに関連付けする」を
実行すると、マイクロソフトアカウントが必要なアプリ
(OneDriveなど)が使用できるようになります。
必要な場合は、セットアップ完了後設定して下さい。

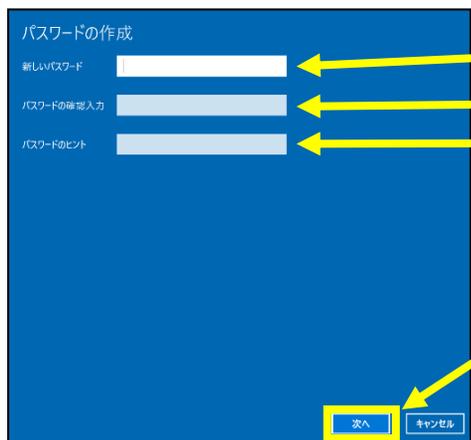


「パスワード」をクリックします。

パスワードを初めて設定する場合は
「追加」をクリックします。



「変更」の場合は次の画面で現在のパスワード
を入力します



①新しいパスワード、
②もう一度、新しいパスワード
③パスワードのヒント
を入力して「次へ」をクリックします。

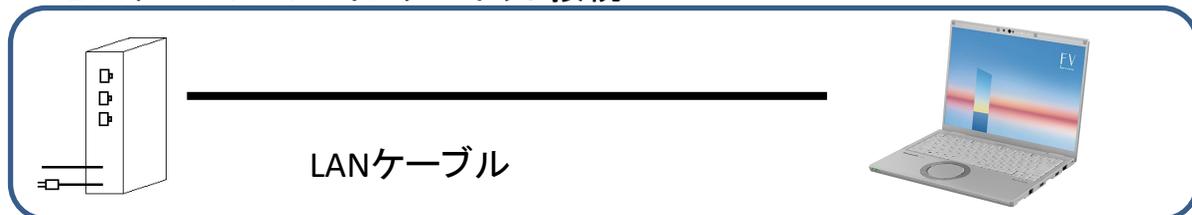
新しいパスワード

次の画面で「完了」をクリックして終了です。

無線LAN接続について - 1

「無線LAN」(ムセンラン)や「Wi-Fi」(ワイファイ)という機能をご存知でしょうか？パソコンでインターネットを行う時に、前ページの様なLANケーブルを使わずに無線電波で接続する機能です。無線LANには「無線LAN親機」と「無線LAN子機」が必要ですが、現在ほとんどのノートパソコンには(もちろん本機種にも)その子機の機能が内蔵されています。

LANケーブルでのインターネット接続



無線LANによるインターネット接続



無線LANを自宅で実施したい場合は、別途、無線LAN親機の購入が必要です。プロバイダからレンタルすることもできます。接続希望の場合はプロバイダにお問い合わせください。

※無線LANは無線電波を使用するため自宅に設置しても、隣近所に電波が飛んでいます。そのため、他人に使われないように無線LAN接続は一般にパスワードを設定しています。パスワードは「アクセスキー」「接続キー」「暗号キー」などメーカー毎に呼び方が違います。
※無線LAN親機には「SSID」(親機の名前)が設定されています。
※SSIDとパスワードがわかれば無線LANは簡単につながります。



※Wi-Fiの設定を開始するときは  のマークをクリックして設定を開始して下さい。

23ページへ進みます。

無線LAN接続について - 2

インターネット(Wi-Fi)接続方法

- ①画面右下の日付、アイコンが表示されている部分  の  マークをクリックすると現在接続できるアクセスポイントが一覧で表示されるので、接続したいアクセスポイントをクリックします。すると、図のように「接続」ボタンが出るので、クリックします。※自動的に接続のチェックを入れておくことで、次回以降パスワードの入力手順を省くことができます。
- ②ネットワークセキュリティキー(パスワード)を入力します。
- ③入力が出来たら「次へ」ボタンをクリックします。
- ④「このネットワーク上の他のPCやデバイスが、このPCを…」と表示されます。ここでは「いいえ」をクリックします。
- ⑤「検証し接続しています」と表示されるので、しばらくお待ちください。
- ⑥接続が完了したらアクセスポイント一覧が消え、図のように  マークが  マークに変わっています。

⑤ ※  マークになっていればインターネット接続完了です。 



その他のインターネット接続方法

インターネット接続はさまざまな方法があるため、詳細は契約した接続業者（インターネットサービスプロバイダ）のコールセンターにお尋ねください。また、4ページに記載の「大学生協無料パソコン電話サポート」もご活用ください。

ただ、最近はインターネット用の「LANケーブル」を接続するだけで、設定等は必要なしで接続できるケースが多いので、ここではその例を記載します



用意するもの：LAN（ラン）ケーブル
家電販売店や大学生協に売っています。
1m、3m、5m、10mなど様々な長さのものが 있습니다。
必要な長さのものを1本用意してください。

接続

プロバイダと契約し、工事が終わると、モデム（またはモデムルータ）という機械を設置してくれています。そのモデムの説明書に従い、モデムの電源を入れてください。

パソコンのLANポートとモデムのLANポートをLANケーブルでつなぎます。モデムのLANポートは機種により複数ある場合、1つの場合もあります。



パソコンの電源を入れブラウザを起動し、インターネットにつながることを確認してみてください。この時「このネットワーク上の他のPCやデバイスが、このPCを検出できるようにしますか？」と表示された場合は「いいえ」をクリックしてください。

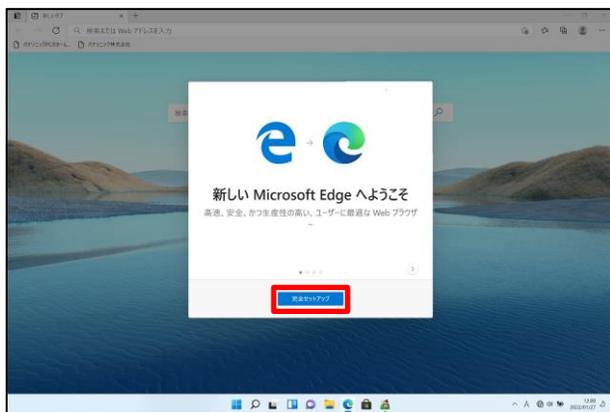
※以上でつながらない場合は設定の必要なケースです。プロバイダや大学生協電話サポートに接続方法をお尋ねください。

インターネットブラウザEdgeについて

Windows11 でインターネットを見るときはEdge(エッジ)を使用します。



Edgeのアイコン



①ここではインターネット接続ができて
いることの確認の意味も込めて
マイクロソフトエッジを起動します。

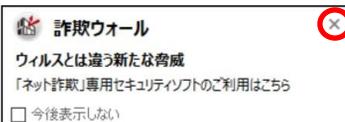
スタート画面やデスクトップ画面
にあるEdgeのアイコンまたは
Edgeのタイルをクリックします

「Edge」を起動すると、
【新しい Microsoft Edge
へようこそ】と表示されま
すので、
【完全セットアップ】をクリ
ックします。

【新しいタブページを設定
しましょう】と表示されま
すので、
【確認】をクリックします。

【すべてのデバイスでお
気に入りやパスワードな
どを表示する】と表示され
ますので、【サインイン
しないで続行】をクリック

【問題ありません！】

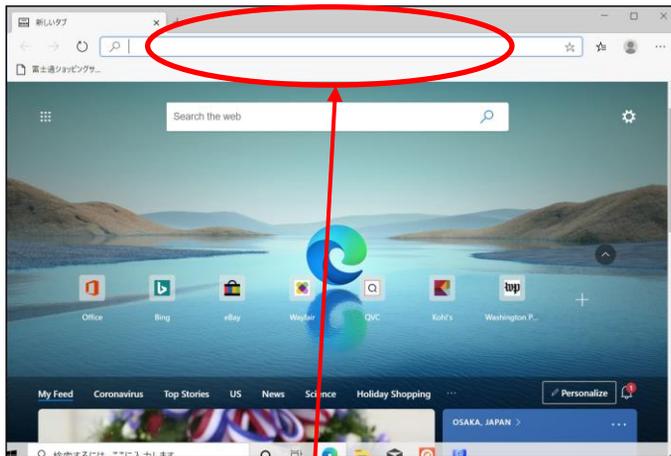


※しばらくすると、画面右下にこのような
「詐欺ウォール」というウィンドウが出る
ことがありますが、問題ありません。
右上の「×」印をクリックして、ウィンドウ
を閉じて下さい。

一般にホームページアドレスのhttp://は入力時省略できます。
http://www.google.co.jp → www.google.co.jp

インターネットブラウザEdgeについて

Windows11 でインターネットを見るときはEdge(エッジ)を使用します。



アドレスの領域



マイクロソフトエッジが起動します
左の画面は一例です。パソコンや設定により初期画面は異なります。)

②見たいホームページアドレスを入力します。

アドレスの領域に見たいアドレスを入力し、Enter を押します。

たとえば、Googleなら `www.google.co.jp` と入力し、Enter を押します。



ヒント 表示されている文字を Backspaceキー等で削除し、空白にしてから新たにアドレスを打ち込みます。

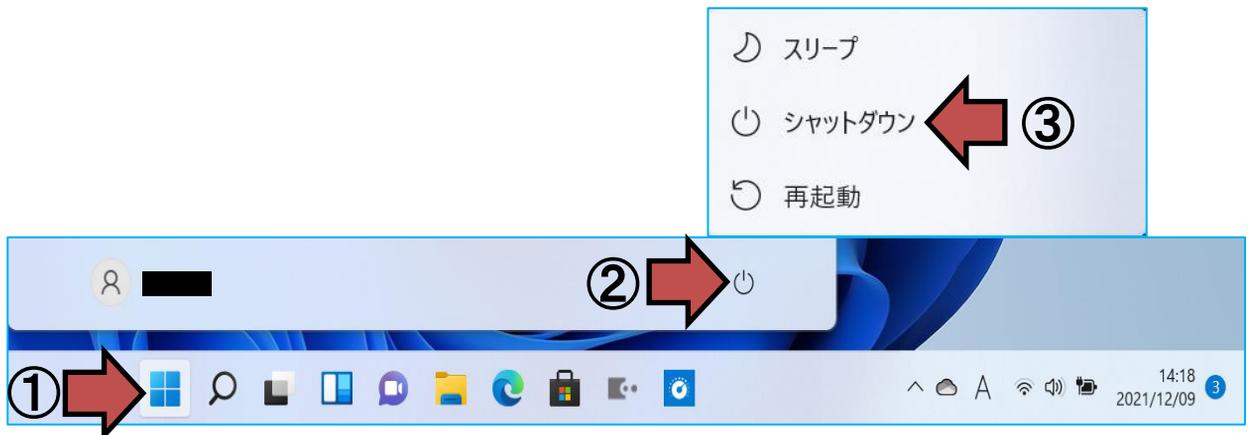


一般にホームページアドレスの`http://`は入力時省略できます。
`http://www.google.co.jp` → `www.google.co.jp`

33ページも
ご参照ください。

【シャットダウンの方法】

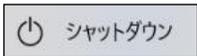
Windows11の終了方法はいくつかありますが、最も基本の方法をご紹介します。



①「スタートボタン」をクリックします。



②「電源ボタン」をクリックします。



③「シャットダウン」をクリックします。

※更新プログラムがある場合、
「更新してシャットダウン」と表示されている場合もあります。
この場合、シャットダウンすると、Windows Updateが開始されます。
28ページ、29ページもご参照ください。

※その後、実際に電源が切れるまで数十秒かかる場合があります。
電源ランプが消えるのを確認してからパソコンの蓋を閉じて下さい。

※上記の方法が基本ですが、スタートボタンの右クリックや
設定により電源ボタンの操作でも電源が切れるように出来ます。

以上でセットアップは完了です。
お疲れさまでした。

次ページからは、
よりパソコンを快適にご利用いただくための
ソフトウェアの紹介や設定方法をご用意いたしました。

4. Windows Update ※よくお読みください

セキュリティを向上させたり、不具合を解消する機能がWindows Updateです。Windows Updateを行わないとトラブルの原因になったり、ウイルスに感染してしまう可能性があります。**【セットアップ手順ではありません】**

Windows11の不具合やセキュリティ上の問題が発見された場合、修正する更新プログラムがインターネット上に公開されます。

この更新プログラムをダウンロードし、Windowsを最新状態に保つのがWindows Updateです。Windows Updateはインターネットにつながることにより自動で行われます。

パソコンを購入した際には、メーカーの生産からお手元に届くまでの間に修正プログラムがたまっている為、必ずWindows Updateを行って最新の状態にする必要があります。

注意

Windows Updateはインターネットに接続することにより自動で行われます。言い換えれば、ネットにつながらないとUpdateは行われず、最新の状態に保てません。普段ネットにつながらない方も定期的につなぐように心がけてください。アップデートは、電源ケーブルを接続した状態で行ってください。

Windows Updateとは？

Windows Updateとはインターネットを通じてWindowsやOffice製品（WordやExcelなど）の発売後に見つかった問題を修正したり、新しい機能を追加する作業のことです。

他にもウイルスが忍び込むセキュリティホール（セキュリティの欠陥）をなくし、悪質な攻撃に負けないように、強化することもWindows Updateでは行われます。

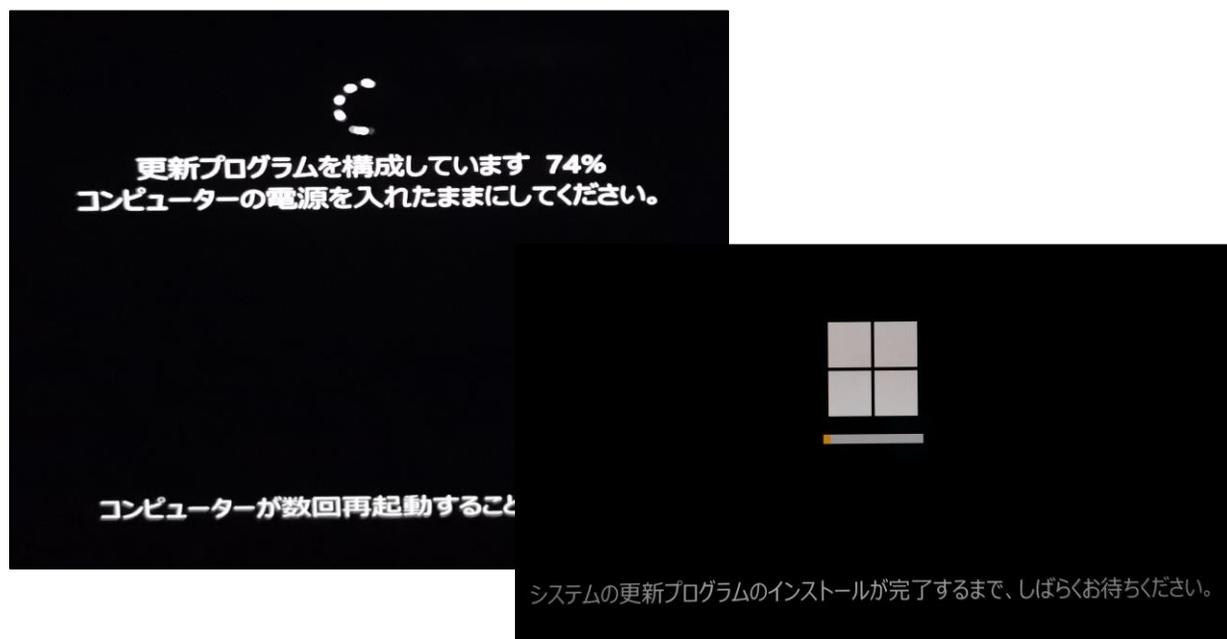
通常はWindows Updateの自動更新が有効になっているので、定期的に更新されるようになっています。とても便利な機能ですが、更新中はパソコンが少々遅くなったり、パソコンの再起動が必要な場合もあり、面倒に感じることもあります。

しかし、Updateをせずに使い続けると、不具合が修正されなかったり、セキュリティの欠陥が残ってしまうなど、とても危険です。

**パソコンを安全に使い続ける為には、
常に最新の状態にしましょう！**

Windows Update更新中の注意

Windows Updateのダウンロード中やインストール中はパソコン全体の動作が遅くなります。異常ではありませんので、そのままご使用ください。



Windows Updateを行った後、Windowsのシャットダウンが左の様な画面になり、通常以上の時間が(10分～30分以上)かかることがあります。それはパソコンがUpdate後の再設定をおこなっていますのでその際は電源を無理やり切らずに自然にシャットダウンされるのを待ってください。

※異常状態が長く続くとき(20分以上画面が変わらない等)は電話サポートにお問い合わせください。

5. 活用編

ここからは付属アプリの紹介や周辺機器の説明、パソコン用語などについて記載します。

付属アプリについて

大学生協オリジナルパソコンには、大学生にとって必要な学習コンテンツがあらかじめ搭載されています。各コンテンツは、先輩の声を基にそれぞれの分野のプロフェッショナル企業が大学生のために厳選しました。英語学習から情報リテラシー、マイクロソフトオフィス活用法、就職活動対策までの学習内容をぜひご活用ください。パソコンサポート案内も掲載していますので、万一の故障の際も安心です。



学生支援ポータル

まず最初に、「学生支援ポータル」を起動してみてください。学生生活に必要な情報のリンクやパソコン修理の説明、付属ソフトの説明等が見られます



これら付属ソフトのアイコンがデスクトップにあります。それぞれ起動して楽しんでください。



付属アプリについての詳しい説明は冊子「学生支援ポータルガイドブック」をご覧ください。

●ナレロー※インターネット環境に接続して楽しみ下さい

大学生協オリジナルパソコンにはパソコン基本操作学習ソフトの「ナレロー12」が入っています。

「ナレロー12」の使用には「ライセンス認証」を行う必要があります。
ライセンス認証には購入時の添付品にある「ライセンスカード」が必要です。
ライセンスカードは紛失しないように大切に保管しましょう。

※インターネットに接続した状態で認証する仕様になっています

※Officeを使用する科目では、Microsoft Officeのインストールが必要です。
(別冊参照)



注:説明の図にあるアイコン群は例であり、お手元のPCの内容と異なる場合があります。



ライセンスカード

注:このシリアルはサンプルです。
利用の際はお手元のライセンスカードのシリアルを入力してください

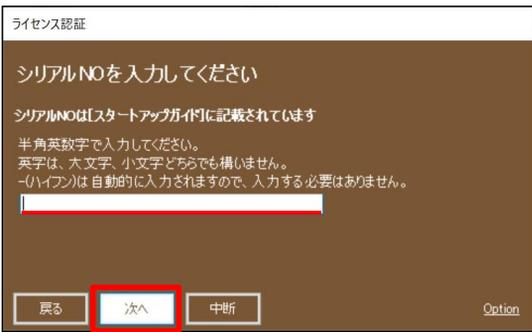
デスクトップの左側にある【ナレロー12】をダブルクリックします。



「はじめに腕試しをしてみましょう!」と出ますが「いいえ」クリックして先に進みます。

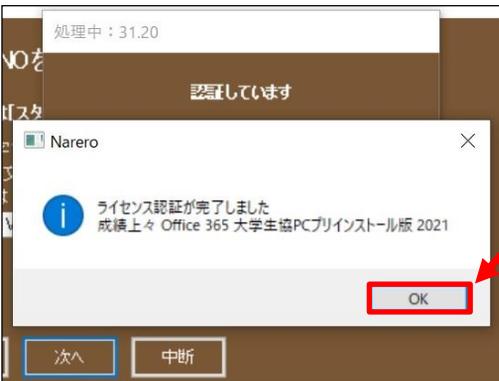


左のように「ライセンス認証をはじめます」というウィンドウが出ますので「次へ」をクリックして先に進みます。



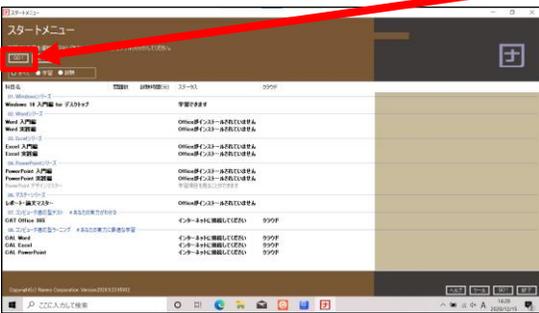
ライセンスカードに記載のシリアルNo.を入力して、「次へ」をクリックします。

『ユーザーアカウント制御』というタイトルで、「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」というメッセージボックスが出てくるので「はい」をクリックして下さい。

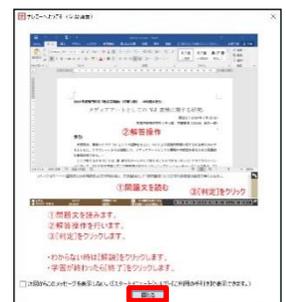
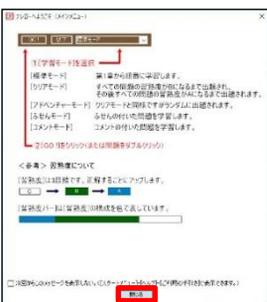


左のようなウィンドウが出ますので、「OK」をクリックして次へ進みます。

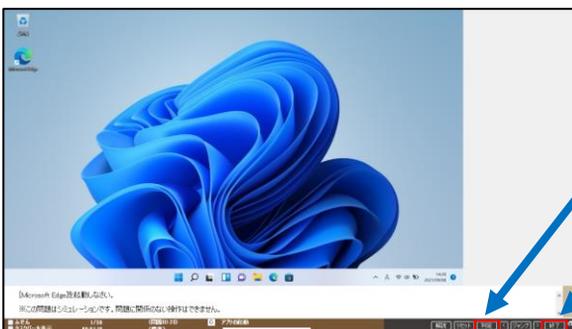
学習する科目をクリックし「GO」ボタンをクリックします。
※Officeをインストールしていない場合、「01.Windowsシリーズ」以外の科目をクリックすると



と出るので「OK」をクリックして次へ進みます。



上記のウィンドが表示されますので、「閉じる」⇒「GO!」⇒「閉じる」をクリックして進めます。



問題が表示されます。回答で来たら右下のボタン群の「判定」ボタンをクリックして下さい。終了するときは画面右下の「終了」をクリックして下さい。

●インターネットブラウザ「Edge」の設定

Windows11 でインターネットを見るときはEdge(エッジ)を使用します。



Edge(エッジ)

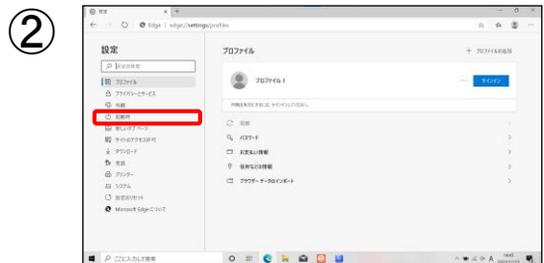
Edgeを起動した時に、最初に表示されるWebページは変更できます。例として、Googleに変更する方法を紹介します。

Googleホームページ : www.google.co.jp

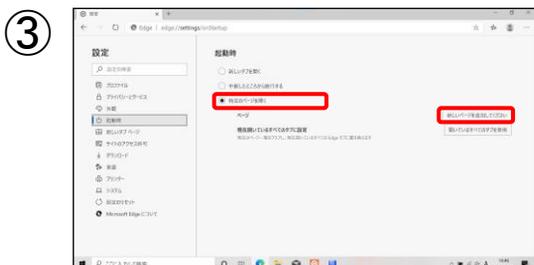
【変更手順】 Edgeを起動し、設定画面で設定変更します。



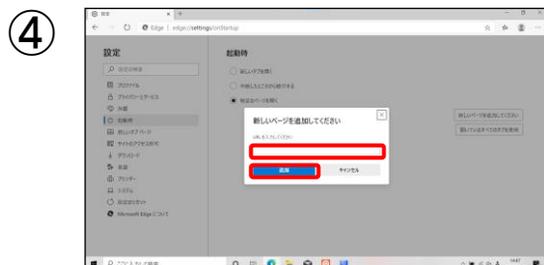
① 画面右上の「...」をクリックして出てきたメニューの「設定」を選択してください



② 左列の上から4番目、【「スタート」、「ホーム」、および「新規」タブ】をクリックしてください。



③ 右側「これらのページを開く」のボタンをクリックしてください。続けて右の「新しいページを追加してください」をクリックしてください。



④ 「URLを入力してください」の欄にGoogleのURL [\[www.google.co.jp\]](http://www.google.co.jp)を入力し、「追加」ボタンをクリックします。



⑤ Googleのアイコンとともに、入力したGoogleのURL情報等が表示されていることを確認。



⑥ 次回、Edgeを起動するとGoogleが表示されます。複数ページの起動登録もできるので、よく使うページを登録してみましょう。

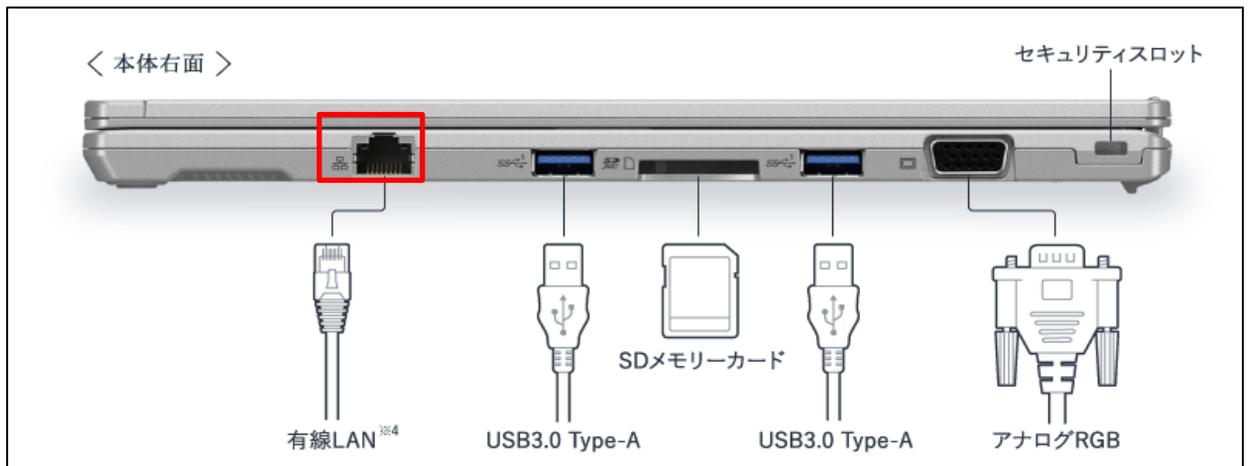
●LANポート、USBポートについて

パソコンにはいくつか種類の異なる、差込口(ポート)があります。それぞれ用途によって使い分けますが、ここでは代表的なLANポートと、USBポートをご紹介します。

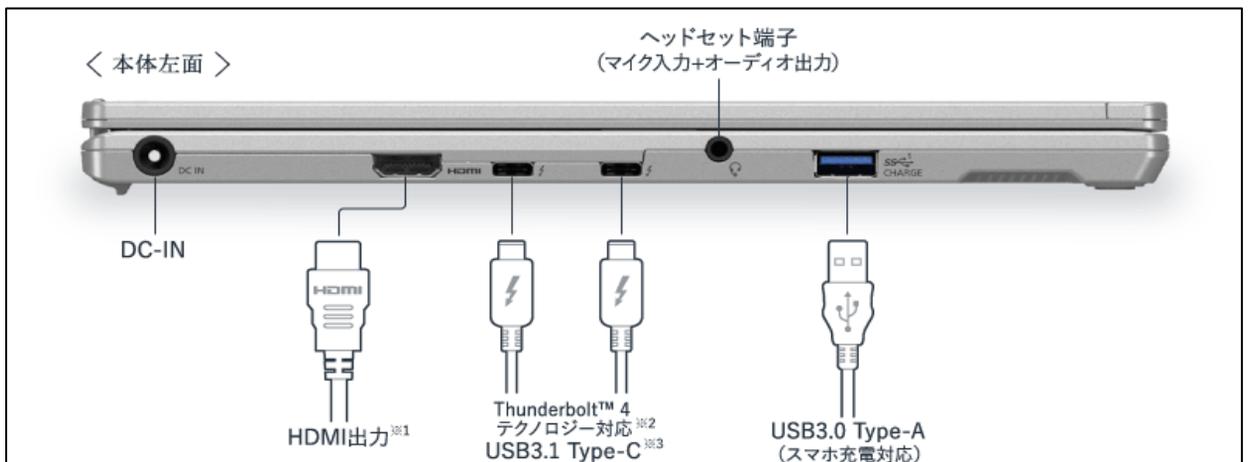
LANポート

このポートはLANケーブルを使って学校などで学内ネットワークに接続する時や自宅でインターネットに接続する時に使用します。

【左側面】



【その他のポートについて】



・プリンタとのWi-Fi Direct接続時について

プリンタに初めてWi-Fi Directで接続する場合は、「セキュリティキーの入力」に切り替えて指定のキーを入力してください。

●USB機器を使おう！

USBメモリやUSB HDDを使ってみましょう。USB機器はセットアップ済みパソコンのUSBポートへ挿すだけで自動認識してすぐに使えます。



□USBメモリ



□USB HDD

USBメモリやUSB HDDは「外部ストレージ」とも言い、データのバックアップや受け渡しに手軽で便利です。ただし、小さなものなので、なくしたり壊したりしないように注意しましょう。特に個人情報が含まれるデータを保存する際は紛失に注意です。(パスワードで保護できる機種もあります)

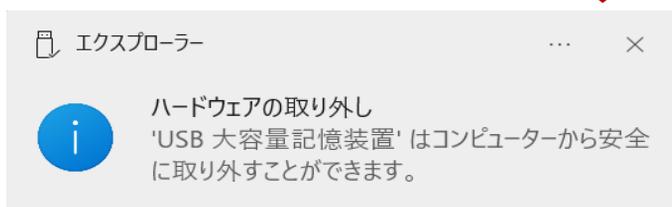
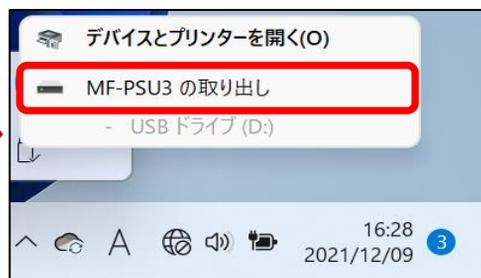
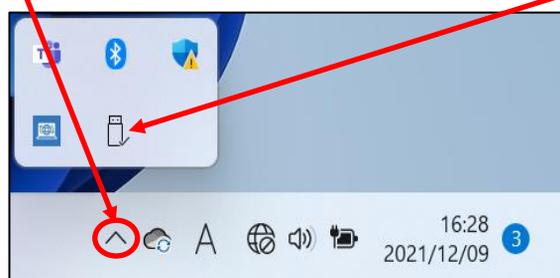
注意

外部ストレージを外すときは注意が必要です！

接続はこんなに簡単なUSB機器ですが、外すときは注意が必要です。必ず次の手順を踏んで外して下さい。

例、「MF-PSU3」という名前のUSBメモリの取り出し方法

↑ をクリックし、表示されたアイコンから  を探しクリックします。



「MF-PSU3の取り出し」をクリックします。
※USBによって名称が変わります。

上図のメッセージが表示されてから、USBメモリを取り外して下さい。

【活用編】バックアップの必要性

パソコンの保存データのバックアップについて簡単に説明します。

【バックアップの必要性】

パソコンは人が作った機械です。必ずいつかは壊れます。
また、取り扱いや運が悪いと短期間で故障することもあります。

パソコンが故障してしまったときには、保存されていたファイルが壊れたり修理に出した際にデータが「全て消去」される場合が多々あります。

また、うっかりミスで大事なデータを消してしまったり、悪意でデータを消してしまう「コンピュータウイルス」にかかることもあります。
そのような時の為に、大事なデータは定期的に「バックアップ」をして下さい。

【バックアップの基本】

基本は「パソコンが壊れて自分が苦労して作ったデータが消えてなくなることを防ぐこと」です。原則は「大事なデータは2か所に保存」(パソコンと外部ストレージの2か所に保存が基本)です。

理由は「二つの機械が同時に壊れることはまずない」からです。

【バックアップ方法】

「バックアップ」は難しいことではありません。上記の基本を参考に、大事なデータをUSBにつないだ外部ストレージや下記の光学ディスクにも保存してください。それだけで完了です。

【バックアップの時期】

毎月始め等、定期的に計画して行いましょう。

また、大事なレポート作成中は随時(毎日、毎時、休憩毎)に実施。

【バックアップに必要な機器(別途購入が必要)】

① 外付けハードディスク(HDD)

最近では、「小型」で「大容量」のUSB接続のHDDも多く販売されています。USBポートに差込むだけで、簡単に使えます。



② USBメモリ

USBメモリも、USBポートに差込むだけで使えます。小型ですので持ち運びにも便利です。HDDより小容量です。



③ CD-RやDVD-Rなどの光学ディスク

CD-RやDVD-Rなどのディスクに保存も出来ます。
ディスクなどメディア自体は安価です。



●用語集(五十音順)

◆ アップデート

ソフトウェアの小規模な更新、改善、修正、機能追加などのことを呼びます。
大規模な更新の場合はアップグレードと呼びます。

◆ アプリケーションソフト、アプリ

文書の作成、数値計算など、ある特定の目的のために設計されたソフトウェアのことを呼びます。

◆ インストール

パソコンでアプリケーションソフト(Wordやメールソフト等)が使用できるように設定する為の作業です。

◆ シリアル番号

ハードウェアのメーカー側で所有者の管理や偽装を防止するなどの目的で製品ごとに割り当てた番号。修理に出したり、ユーザー登録時に必要になります。

◆ ソフトウェア

OSとアプリケーションソフト等のプログラムの総称をソフトウェアと呼びます。
例: OS(Windows、Mac等)
アプリケーションソフト(Word、Edge、ウイルスバスター等)

◆ ダウンロード

インターネット上からファイル(文章、音楽、画像等)をパソコン上に保存する作業です。

◆ スタート画面

パソコンのスタートボタンクリック後に表示される基本となる操作画面です。

スタート画面



◆ バックアップ

パソコンの中のデータをUSBメモリや外付けHDD等にコピーを行う作業です。
パソコンの故障や操作ミスによってデータが消えてしまった時の為に行います。
バックアップ例: 文書、写真、音楽、メール、インターネットのお気に入り等

◆ ハードウェア

パソコンを構成している部品や周辺機器等の総称をハードウェアと呼びます。
例: HDD、メモリ、キーボード、マウス、ディスプレイ、プリンタ、iPod等

◆ プロダクトキー

ソフトウェアのメーカー側でユーザ管理やソフトウェアの不正コピー防止のために発行している番号。ソフトウェアのインストール時やユーザー登録時に使用する。

◆ メモリ

データの保存場所であるHDDから、データを処理するCPUに渡すデータを一時的に置いておくための部品です。
メモリの容量が大きいと一度にたくさんのアプリケーションソフト(Word、ブラウザ等)を使用できたり、動作がスムーズになります。



ノートパソコン用のメモリ

◆ ライセンス

ソフトウェアを購入した際にソフトウェアを使用する権利のこと。

◆ リカバリ(初期化)

パソコンを購入時の状態に戻す作業です。
パソコンが起動しなくなった際などに行います。

◆ ログイン/ログオフ

ログインはパソコンを利用したり、ホームページ内のサービスを利用する際にIDとパスワードを入力して認証をする作業です。
ログオフはパソコンやサービスの利用を終了する際に行う作業です。

◆ CPU(シーピーユー)

パソコン全体の処理・計算を行う、頭脳と言える部品です。
CPUが良いものであるほど、コンピュータは複雑で多くの処理を速く安定して行えます。

◆ HDD(ハードディスク)

パソコンの中でデータの読み書きを行う装置になります。
容量が多ければ多いほどたくさんのデータを書き込むことができます。

◆ SSD(エスエスディ)

HDD同様データの読み書きを行う装置になります。
SSDはHDDの機構部分をなくし、電子部品で構成された装置でHDDに比べ高速で消費電力が少ない特徴があります。

◆ LAN

ケーブルや無線などを使って、同じ建物の中にあるコンピュータや通信機器、プリンタなどを接続し、データをやり取りするネットワークです。

◆ OS(オペレーティングシステム)

WindowsやMac等の主にパソコンのソフトウェアやハードウェアを管理する機能になります。

◆ Wi-Fi(ワイファイ)

無線LANの規格のひとつ。
最近ではWi-Fi=無線LANといった意味で使われることが多いようです。

◆ 32bitと64bit

まずbit(ビット)とはパソコンで扱う情報量の最小単位です。
bitの単位が大きい方がよりCPUで多くの情報量を処理することができます。
※古いWindowsでは「32bit(ビット)」を使用していましたが、最近のパソコンは「64bit(ビット)」に切り替わりました、その為、以下の注意点があります。

・互換性の違い

一般に32 bit(ビット)用アプリケーションと64 bit(ビット)アプリケーションは互換性がありません。
古いアプリケーションソフトには32 bit(ビット)のみ対応の場合があり、Windows対応と記載されていても最近の64 bit(ビット) Windowsでは動作しないアプリケーションソフトがあります。
古いアプリケーションソフトをインストールする場合は64 bit(ビット)に対応しているか確認する必要があります。

●各種キーについて※機種によってキー配列が異なります



文字入力によく使うキー

(用途は一例です)

キー	用途
Enter (エンターキー)	<ul style="list-style-type: none"> 文字を確定する。 改行する。
Space (スペースキー)	<ul style="list-style-type: none"> カタカナや漢字に変換する。 空白を入れる。
Back Space (バックスペースキー)	<ul style="list-style-type: none"> カーソルの左側の文字を消す。 改行を取り消す。
Del (デリートキー)	<ul style="list-style-type: none"> カーソルの右側の文字を消す。 改行を取り消す。
⇧Shift (シフトキー)	<ul style="list-style-type: none"> ⇧Shiftを押しながらアルファベットキーを押すと大文字で入力される。 ⇧Shiftを押しながら数字キーまたは記号キーを押すと、キーの上部に印字されている文字が入力される。
← → ↑ ↓	<ul style="list-style-type: none"> カーソルを動かす。
半角/全角 漢字	<ul style="list-style-type: none"> 「半角英数」入力モードとその他のモードを切り替える。
Caps Lock 英数	<ul style="list-style-type: none"> 「英数」入力モードに切り替える。 ⇧Shiftを押しながら Caps Lock 英数 を押した後アルファベットキーを押すと、常に大文字で入力される。(キャップスロック状態と異なります (Caps Lockランプ が点灯)。この状態で小文字を入力するには ⇧Shift を押しながらアルファベットキーを押してください。)

キー	機能	画面表示 (表示は一例です)
Fn + Esc	(CF-FVシリーズのバックライトキーボード搭載モデルのみ) 内蔵キーボードのバックライトの明るさを調整します。	—
Fn + F1	内部LCDの明るさを調整します。	
Fn + F2	Fn + F1 (暗くする) / Fn + F2 (明るくする)	
Fn + F3 または Fn + F4	キーを押すと右の画面が表示され、外部ディスプレイを接続している場合は画面の表示モードを切り替えることができます。 Fn + F3 を押して表示モードを選んだ後、 Enter を押すまで切り替わらない場合があります。3つのディスプレイに画面を同時表示することはできません。	
Fn + F4	スピーカーやオーディオ出力端子からの音声出力のオン/オフを切り替えます。	 オン オフ (ミュート)
Fn + F5	スピーカーやオーディオ出力端子からの音量を調整します。	
Fn + F6	Fn + F5 (小さくする) / Fn + F6 (大きくする) 音量を0まで下げると自動的にミュート状態になります。	

キー	機能	画面表示 (表示は一例です)
Fn + F7	現在のパソコンの状態がメモリーに保存されてスリープ状態に入ります。	—
Fn + F8	(CF-SVシリーズ) 画面の状態 (表示モードと画面の解像度やリフレッシュ・レートなど) を復元します。「表示」画面で復元する設定を選び、[OK] をクリックしてください。	—
Fn + F9	(CF-FVシリーズ) 機内モードを [オン] にします。 解除するにはもう一度押します。	機内モードオン オン 機内モードオフ オフ
Fn + F10	バッテリーの残量を表示します。	バッテリー残量: 100%
Fn + F10	現在のパソコンの状態をSSDに保存して休止状態に入ります。	—
Fn + F11	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。(SysRq)	—
Fn + F12	画面全体をクリップボードにコピーします。(PrtSc) Fn + Alt + F12 を押すと、選択されているウィンドウのみコピーできます。	—
Fn + Fn	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。(ScrLk)	—
Fn + Home	最初のページに移動またはポインターを行の先頭に移動 (Home)	—
Fn + End	最後のページに移動またはポインターを行の最後に移動 (End)	—
Fn + Up	前のページに移動 (PgUp)	—
Fn + Down	次のページに移動 (PgDn)	—
Fn + Back Space	Ctrl + Alt + Del と同じになります。	—
Fn + Fn	(CF-SV/CF-QVシリーズ) 使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。	—
Fn + Del	Fn + Fn : Pause Fn + Del : Break	—

● セットアップが終わったら・・・

Panasonic

取扱説明書 活用ガイド
 パーソナルコンピューター
 品番 CF-FV/CF-SV/CF-QV シリーズ
 (Windows 11)



(CF-FVシリーズのイラストです)

この冊子は「**活用ガイド**」です。

◆ このパソコンにトラブルがあったときは → 62ページをご覧ください

本機には、この冊子以外にも下記のような冊子や画面で見るマニュアルがあります。目的に応じてご利用ください。

「取扱説明書 基本ガイド」

「取扱説明書 操作マニュアル」

「取扱説明書 Windows入門ガイド」

- ・ 使用上のご注意事項
- ・ 詳しい操作
- ・ 各種設定
- ・ 再インストール など

- ・ 安全上のご注意
- ・ 付属品の確認
- ・ Windowsのセットアップ
- ・ 別売り商品
- ・ 仕様
- ・ 保証とアフターサービス など

表記について

- 本書では、「Windows 11 Pro (日本語版)」を「Windows」または「Windows 11」と表記します。
- 共通部分のイラストはCF-FVシリーズを使用しています。異なった部分は、別冊品番を表示しています。
- イラストや写真、動画、仕様の表示に際しては、権利者名を付記することがあります。
- 本書では、内蔵のDVDスーパーマルチドライブ/ブルーレイディスクドライブを「光学式ドライブ」と表記します。
- 本書では、フラッシュメモリードライブ(SSD)と表記する場合があります。
- 本書は、Windows 11バージョン21H2の状態で説明しています。
- Windows 11のアップデートや購入時期により画面表示や操作手順が変更になる場合があります。

セットアップが終わったら、「取扱説明書 活用ガイド」の「詳しい使い方」に目を通しておきましょう。



マウスはパソコンに電源が入っていても自由に抜き差しできますが、USBメモリのようなデータを保存しておく機器の場合は、『操作マニュアル』「周辺機器」の「USB機器を接続する」の手順を踏んで外さないと、壊れることがあります。

『操作マニュアル』はスタート画面の[マニュアル選択ユーティリティ]をクリックします。